

教師であることの幸せを

感じられるチーム奥富小

- ☆子供の心に学びの火をつける教職員
- ☆子供の心に生きる教職員
- ☆優しさと厳しさのバランスがとれる教職員
- ☆凡事徹底ができる教職員
- ☆ワークライフバランスを実現する教職員

愛情と信頼でつなぐ奥富小学校



行動基準【信頼・愛情・笑顔】

奥富小学校教育目標
豊かな心を持ち、進んで学ぶ子

【知力の向上】

- ◎狭山市学力向上“茶レンジ・プラン”提言6の着実な実践
- 児童・生徒が学びを実感できる授業の実現
- ◎昨年度の学校研究をベースとした令和5年度学校課題研修の充実
- ◎公開授業、示範授業、研究授業による授業力向上
- ◎ICT 機器、思考ツールの積極的、効果的な活用
- ◎入間算数学力テスト、埼玉県・全国学力学習状況調査の結果等の分析・対策・活用
- ◎家庭学習による学習習慣の定着

【体力の向上】

- ◎体育授業力の向上
 - ・運動量の確保の徹底
 - ・効果的なICTの活用
 - ・時間、空間を意識した工夫ある体育の授業
 - ・思考力を深められる授業展開
- ◎新体力テストの数値向上
 - ・新体力テスト取組方の研修、目標の提示、効果的な場の設定、声掛け
- ◎全教職員共通の取組
 - ・効率的、効果的な間指導計画、ライン計画
 - ・効果的な授業展開の提示
 - ・朝の時間、休み時間の積極的な運動の取組み

【徳力の向上】

- ◎特別の教科道徳の充実
 - ・年間35回の「特別の教科 道徳」の授業実践の充実
 - ・公開授業、示範授業、研究授業の積極的な取組
- ◎明るい歌声が響く教室・学校
- ◎ポストコロナにおける学校行事を通じた心の教育
- ◎積極的な学年・学級経営・生徒指導
- ◎特別支援教育の充実
- ◎あいさつあふれる奥富小

奥富っ子児童像

かしこく【自立】

- ・自ら進んで学ぶ子
- ・課題に直面したときに自ら考え解決できる子
- ・自分のよさを見出し、自信を持って行動できる子

やさしく【共生】

- ・他者に関わり、共に生きる喜びを感じられる子
- ・思いやりのある子
- ・みんなのために行動することをやりがいと感じる子

たくましく【活力】

- ・進んで運動し、丈夫な体づくりに励む子
- ・最後まであきらめずにねばり強く取り組む子
- ・どんな困難にも立ち向かう心がもてる子

令和5年度奥富小重点・努力点

柱1

【知力・体力・徳力向上の実践】

【実践】

- ◎自分事として捉える危機管理能力の育成作り
- ◎効果的な人材育成ができる土台作り
- ◎美しく潤いのある学校作り

【連携教育】

- ◎中央中学校と入間川東小学校との連携の充実
- ◎新狭山保育所、けやき認定こども園、こひつじ保育園との積極的な連携
- ◎PTA、保護者、地域、SSVC 学校応援団、奥富地区センター、青少年を育てる狭山市民会議との連携活用
- ◎地域への計画的、積極的な参加（かかし祭り、甘酒祭り、地区体育祭など）
- ◎積極的情報発信の工夫（学校だより、ホームページ）

【業務改善】

- ◎PDCA サイクルを活用した教育活動の見直し、取組、業務改善
- ◎教育のDX化の工夫、アイデア
- ◎学校運営協議会（コミュニティスクール）発足
- ◎ワークライフバランスの実現
- ◎自己評価、学校評価、保護者アンケートの積極的活用
- ◎多くの相談機関との積極的な連携（相談員、SSW、SC、けやき、こども支援課、医療機関など）
- ◎働き方改革の具現化
～子供たちのために時間をかけるものと効率的効果的に行うものの精選～

☆学校研究☆

- 令和4年度研究主題 ◎キーワード＝【発信力】
【主体的に学び 自信を持って発信できる児童の育成】
- ↓
- 令和5年度研究主題 ◎キーワード＝【対話力】
【相手を意識し双方向性のあるコミュニケーション能力の育成】
～ICT、思考ツール等を活用し、
学びを実感できる授業を通して～

柱2

【ポストコロナにおける教育活動の実践】

令和4年度奥富小重点・努力点

小規模校の強みと奥富の環境を最大限に生かす学校

奥富小の強みを生かし弱みと脅威を克服する学校

【業務改善】

- ・風通しの良い職員室
- ・情報交換・情報共有のしやすさ
- ・ワークライフバランスの充実
退勤時間・業務精選の意識
留守番電話機能等の業務改善

【奥富の恵まれた自然環境】

- ・田んぼに囲まれた学校
- ・学校ファームの充実
- ・広い校庭での体育、休み時間による体力向上

【協力的な保護者・地域】

- ・学校応援団、ボランティアなどの強い協力体制
- ・古い神社やお寺、伝統的祭りに触れられる歴史的環境

ベテラン教員と若手教員の関わり、管理職によるOJT研修、学校研究の充実により人材育成を図り、教員としての力をつけることで、校務分掌の偏りを減らす。

教育委員会（指導課、総務課、施設管理課等）や外部機関（こども支援課、けやき、SC、SSW等）との迅速で確実な連携体制を図り、報告や相談、要望をしていく。

PDCA サイクル（反省を改善したところから起案し実行し評価する）、学校評価、学校関係者評価、自己評価面談を生かすことで業務の効率化や成果を生み出す。

